

自己評価報告書(最終報告)

報告者

社会系コース／井上 奈穂

■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが（平成24年8月28日）、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

1. 目標・計画

将来、教師を目指す学生は、「社会認識形成を踏まえた、市民的資質の形成を図る」授業を目指して欲しい。そのため、以下のような授業実践の展開を考えている。

- ①授業内容: 自ら教材研究をしていく力の育成
教師からの一方的な知識の伝達にとどまらず、取り上げたテーマについての知識を自ら収集し、また再構成できる場としての調べ学習の充実を図る。
- ②授業方法: アウトプットする力の育成
学生主導の学習環境を整えるために、調べたことの発表・意見交換の場の充実を図る。
- ③成績評価: 教員・学生の信頼関係の構築
授業評価のエビデンス、アカウンタビリティの充実を通して、学生自身が「納得できる」成績評価を目指す。

2. 点検・評価

中間報告

後期の授業について以下のような工夫を行った。

- ①授業内容: 自ら教材研究をしていく力の育成
「初等社会科教育論」において、本学周辺地域の「お気に入り」の場所を紹介させ、相互に発表した。（小学校の地域学習の教材作実践）
- ②授業方法: アウトプットする力の育成
「社会科・公民科教材論」において、教材の特徴を、探求型、理解型、論争型の観点から分析させ、発表・意見交換の場を通して、理解の充実に努めた。
- ③成績評価: 教員・学生の信頼関係の構築
ライブキャンパスを利用し、出欠状況・小レポートの成績について公表し、形成的な評価の共有と結果のフィードバックに努めた。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

・授業時間外においても可能な限り時間を取り、学生が質問等をしやすい状況をつくる。
・学生が主体的に学ぶ環境づくりに努める。
・担当学年である4学年及びゼミ生を中心に、学校生活について相談があれば、随時相談にのり、充実した学生生活が送れるように支援する。

2. 点検・評価

・教員採用試験に臨む学生に対する指導・助言を放課後等に行った。
・後記授業では、「作業課題」を明確にし、授業の目的と到達点を明らかにすることで主体的な環境づくりに努めた。
→後期の作業課題: (1)お店の工夫を調べよう、(2)高島の「お気に入りの場所」紹介(3)小論文を評価しよう(4)「よい授業」を評価しよう
・教育実習生の授業づくり等についてのアドバイスをを行った。
・担当学年である4学年及びゼミ生を中心に、学校生活、卒論、修論について相談があれば、随時相談にのり、充実した学生生活が送れるように支援した。

Ⅱ－2. 研究

1. 目標・計画

・社会科教育における授業や評価に関する研究について、学問的な見地を踏まえた論文、研究会での発表等を通して積極的に発信する。
・附属学校等の研究会に積極的に参加し、自らの専門分野を踏まえた助言等を通して、教育現場におけるアップデートな社会科教育に資するよう心がける。

2. 点検・評価

<研究会>
日本社会科教育学会(2013.10.26-27)、全国社会科教育学会(2013.11.9-10)に参加し、平成25年度の研究課題についての議論に参加した。
2013年度鳴門教育大学附属小学校の研究大会に向け、附属小学校の教員に対し、自らの専門分野を踏まえた助言を行っている。

Ⅱ－3. 大学運営

1. 目標・計画

4学年担任や各種委員会等における職責を誠実に果たすことができるよう尽力する。

2. 点検・評価

- ・4学年担任として、学生のよりよい生活のための指導・相談にあたっている。
- ・図書委員として、会議に参加し、鳴門教育大学附属図書館の現状・課題についての理解に努めている。

Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ・附属小学校, 中学校の研究会に積極的に参加する。
- ・大学と地域・社会との交流・連携を積極的に行う。

2. 点検・評価

- ・北島小学校と連携したF研究を実施した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

今年度は、本学の組織及びシステムの理解を踏まえた職務・職責の遂行とともに、教育、研究、社会貢献の面での貢献が課題であった。昨年度と比べ、発展的に職責を遂行することが出来、この課題はおおむね達成できたと言える。